



今月の主な内容

- まちの財政状況の公表
- 全国の舞台で湧別町民が活躍
- イチゴ狩り体験を長い間ありがとう

今月の表紙

一夜限りのミニ屋台「屋台でないと!？」
おいしい食べ物とマジックで楽しいひと時

まちの財政状況と 上半期の予算執行状況

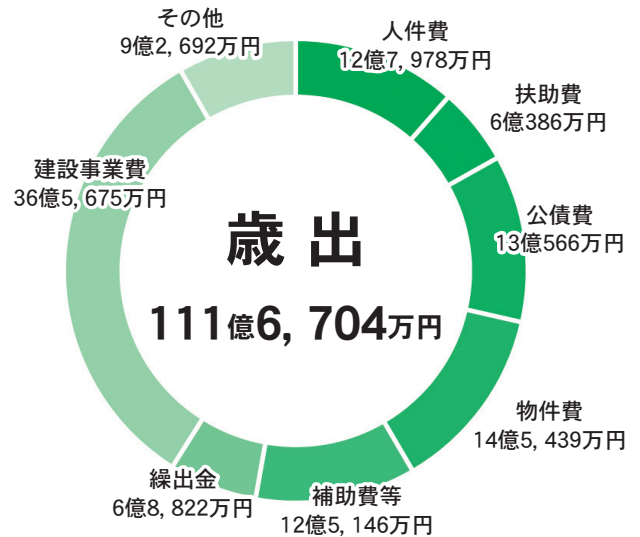
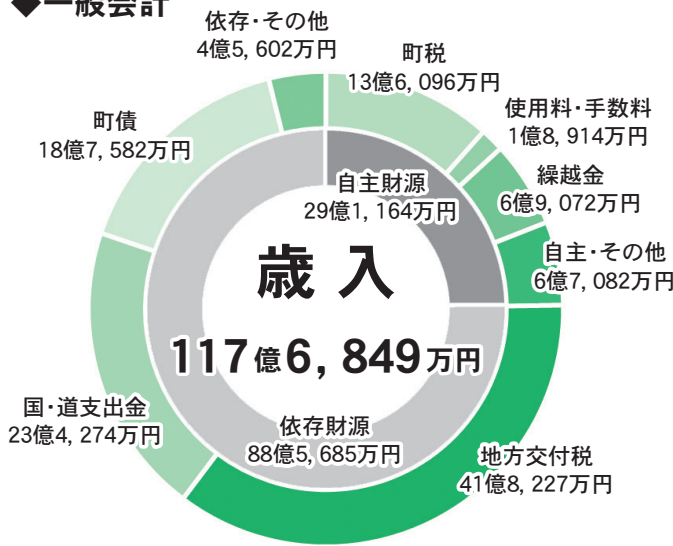


財政状況の公表は、町民の皆さんに町の財政をご理解いただくため、毎年2回行っているものです。
今回は令和4年度の決算状況と令和5年度上半期の予算執行状況について、その概要をお知らせします。

令和4年度一般会計・特別会計決算の概要

この財政状況は令和4年度各種会計歳入歳出決算書より作成しています。
※基金については、令和5年5月31日現在の額です。

◆一般会計



| 項目 | 説明 |
|---------|----------------------|
| 町税 | 町民税や固定資産税など |
| 使用料・手数料 | 施設使用料や公営住宅家賃など |
| 繰越金 | 前年度から持ち越したお金 |
| 自主・その他 | 財産収入、その他雑入など |
| 地方交付税 | 一定の行政運営をするための国からの交付金 |
| 国・道支出金 | 国、北海道からの補助金など |
| 町債 | 建設事業を行うために借りたお金 |
| 依存・その他 | 譲与税や交付金など |
| 自主財源 | 町自らが決定し収入する財源 |
| 依存財源 | 国や道の決定に基づき収入する財源 |

| 項目 | 説明 |
|-------|--------------------|
| 人件費 | 議員報酬、職員の給料など |
| 扶助費 | 医療費の給付費など |
| 公債費 | 今までに借りた町債の元金と利息 |
| 物件費 | 消耗品や施設の光熱水費、委託料など |
| 補助費等 | 各団体や個人に対する補助、負担金など |
| 繰出金 | 特別会計への一般会計負担分 |
| 建設事業費 | 建物や道路の建設費など |
| その他 | 施設の維持費や積立金など |

◆特別会計

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|---------|------------|------------|----------|
| 国民健康保険 | 14億7,515万円 | 14億7,355万円 | 160万円 |
| 後期高齢者医療 | 1億5,766万円 | 1億5,726万円 | 40万円 |
| 介護保険 | 11億4,405万円 | 11億1,288万円 | 3,117万円 |
| 水道事業 | 収益的収支 | 2億2,351万円 | △3,225万円 |
| | 資本的収支 | 839万円 | 1,916万円 |
| 簡易水道事業 | 9,081万円 | 8,974万円 | 107万円 |
| 下水道事業 | 3億5,193万円 | 3億5,134万円 | 59万円 |

| 基金残高 | 町債残高 |
|-----------|------------|
| 1億3,562万円 | — |
| — | — |
| 1億2,020万円 | — |
| — | 9,153万円 |
| — | 3億731万円 |
| — | 14億8,453万円 |

◆町税の状況



町民一人あたり負担 約16万9千円
(令和5年3月31日現在 人口 8,034人)

◆基金の状況

| | | |
|-----------|--------------------------|-----------------------|
| 積立基金 | | 81億7,754万円 |
| 内 訳 | 財政調整基金 | 49億8,202万円 |
| | 減債基金 | 9億4,547万円 |
| | ふるさと創生基金 | 5億1,510万円 |
| | 地域福祉基金 | 3億5,329万円 |
| | 公共施設整備基金 | 4億1,077万円 |
| | 旧国鉄代替輸送確保基金 その他特定目的基金 | 6億6,216万円 3億 873万円 |
| 定額運用基金 | | 2,640万円 |
| 備荒資金組合積立金 | | 2億8,674万円 |
| 総合計 | | 84億9,068万円 |
| 前年度比 | | + 4億7,808万円 |

◆町有財産の状況 (令和5年3月31日現在)

| | | |
|--|----|------------------------|
| | 基金 | 81億7,754万円 |
| | 山林 | 4,261 ha |
| | 土地 | 1,859 ha |
| | 建物 | 170,007 m ² |
| | 車輛 | 105 台 |

◆地方債の状況

| | |
|-----------|-------------|
| 一般会計地方債残高 | 117億3,687万円 |
| 前年度比 | + 6億 170万円 |

積立基金、地方債を町民一人あたりの額に換算すると
(令和5年3月31日現在 人口 8,034人)

- ・積立基金(貯金)～ 約101万8千円
- ・地方債(借金)～ 約146万1千円

となります。

※地方債(借金)の約71%は今後地方交付税(国からの仕送り)で措置されるため、実際の負担は42万円程度になります。

令和5年度上半期の予算執行状況

各会計の上半期(4月～9月)の予算執行状況は下記のとおりです。
予算額に対する歳入歳出額をグラフ、表で示しています。

◆一般会計 (予算額 117億770万円)

| | | |
|----|-----------------------------|------------------------------|
| 収入 | 収入済額 48億42万円 41.0% | 収入未済額 69億728万円 59.0% |
| | 支出済額 37億2,796万円 31.8% | 支出未済額 79億7,974万円 68.2% |

表中のパーセンテージは収入率、執行率です。

なお、水道事業会計(資本的収支)において、収入済額よりも支出済額が多くなっていますが、収支の不足額は損益勘定留保資金で補っています。

◆特別会計

| 会計名 | 予算額 | 収入済額 | 収入率 | 支出済額 | 執行率 |
|---------|------------|-----------|-------|-----------|-------|
| 国民健康保険 | 15億1,446万円 | 5億9,698万円 | 39.4% | 5億7,531万円 | 38.0% |
| 後期高齢者医療 | 1億6,370万円 | 5,592万円 | 34.2% | 5,215万円 | 31.9% |
| 介護保険 | 11億7,171万円 | 6億5,259万円 | 55.7% | 4億6,947万円 | 40.1% |
| 簡易水道事業 | 7,970万円 | 4,953万円 | 62.1% | 3,005万円 | 37.7% |
| 下水道事業 | 4億 430万円 | 1億9,637万円 | 48.6% | 1億4,873万円 | 36.8% |

| 会計名 | 収入予算額 | 収入済額 | 収入率 | 支出予算額 | 支出済額 | 執行率 | |
|------|-------|-----------|---------|-------|-----------|---------|-------|
| 水道事業 | 収益的収支 | 1億9,577万円 | 6,577万円 | 33.6% | 2億3,990万円 | 4,054万円 | 16.9% |
| | 資本的収支 | 775万円 | 0万円 | 0.0% | 1,950万円 | 564万円 | 28.9% |

10/22

赤ちゃんから大人までステージを楽しむ はいだしょうこ&恵畑ゆうファミリーコンサート

「はいだしょうこ&恵畑ゆうファミリーコンサート」が開催され、たくさんの親子が音楽を楽しみました。

芸術文化公演を招へいする町民団体「良いもの見よう聞こう会」（川村寿光 会長）が主催したもので、テレビ番組「おかあさんといっしょ」でおなじみの曲を中心に、童謡や手遊び歌などを楽しみました。

子どもたちは、歌に合わせて手拍子や踊ったりするなど、楽しい時間を過ごしたようで「歌がとっても上手だった。知っている曲でうれしかった。」と話していました。

文化センターさざ波



およそ200人の観客が音楽を楽しみました

10/22

元気いっぱい日頃の成果を披露 各学校で学芸会

町内の各学校で学芸会が行われ、児童たちは劇や器楽演奏などを元気よく発表しました。

開盛小学校では、絵本の「パンダ銭湯」を題材にした劇など、全校生徒で元気いっぱいに披露しました。

1年生は初めての学芸会でしたが、緊張した様子も無く、楽しそうにお兄ちゃんお姉ちゃんたちと一生懸命練習してきた成果を披露。この日を待ちわびた保護者や地域の方々は目を細めながら、温かい拍手を送っていました。

開盛小学校



人気絵本「パンダ銭湯」の世界を元気いっぱい演じました

10/24

魅力ある学校・魅力あるまちへ 湧高生と刈田町長が意見交換会

今回で11回目となる意見交換会は、刈田町長が魅力ある学校づくりやまちづくりを進めるうえで、高校生の考えや湧別町への思いなどを直接聞くために実施しているもので、生徒の代表7人が出席して、和やかな雰囲気で行われました。

刈田町長より「魅力ある学校、魅力あるまちにするために、皆さんの思いを聞かせてください。」と話し、高校生のリアルな声を求めました。

生徒からは、身近な高校生活での要望から高校の魅力化やまちづくりに向けた事などの意見が出され、刈田町長は「貴重な意見を湧別高校の魅力化やまちづくりに反映できるよう検討していく。」と話していました。

文化センターTOM



昨年の意見交換会の中から、eスポーツ部やソフトテニス部の設立、文化センターTOMロビー木質化が実現しています。

主な意見

- 文化センターTOMロビーの木質化で、勉強や休憩などで使いやすくなった。
- 中学校でeスポーツ部に興味を示している生徒が多い。今後eスポーツ部が大会で活躍するためには、大会と同じ環境での部員間での対戦が必要なので、台数を追加してほしい。
- 湧別町のPRや交流のために、引き続き生徒会で北海道大学学園祭に出店したい。
- 学校祭（湧虹祭）で露店を復活させたい。地元企業にも参加してもらいたい。
- 湧高で基礎的な科目は履修できるが、学校では学べない応用科目Bを公設塾で補完的に学ぶことが出来れば、進学希望者は助かる。
- 移住してきた人などのために、チューリップの時期などに役場や中心市街にレンタル自転車を設置しては。



文化センターさざ波



出演者たちは日頃の練習の成果を披露していました

10/
29

芸術の秋深まる

湧別町総合文化祭 芸能の部

湧別町総合文化祭の芸能の部が開催されました。

町内外の14団体1個人が出演した今年は、剣詩舞や舞踊、
こ
箏や民謡、詩吟といった伝統芸能に加え、ピアノの演奏、
カラオケやダンスなど多彩なジャンルのステージ構成となっており、たくさんの観客が詰めかけました。

小学生から90歳を超える方まで、老若男女80人ほどの方々が一年間の練習の成果を存分に披露。身近な出演者に、会場からは盛んに温かい拍手や歓声を送られていました。

役場上湧別庁舎前



トリックオアトリート（お菓子をくれないといたずらするよ）と、元気な声が響いていました

10/
31

トリックオアトリート

ハロウィンライトアップイベント

ハロウィンライトアップイベントが役場上湧別庁舎前で行われました。

平日のハロウィンということで、遠出ができない方のために、少しでもハロウィンを楽しんでもらおうと役場の有志職員が企画したもので、業務終了後などの時間で作り上げたものです。

当日は、町内外から約100人の方が訪れ、「ハッピーハロウィン」と楽しそうな声が飛び交い、仮装した職員から、子どもたちにお菓子がプレゼントされました。

かみゆうべつ温泉チューリップの湯 駐車場



地域おこし協力隊のページ（12ページ）で、フォトスポットが紹介されています

11/
1

12カ所のフォトスポット

湧別フォトスポット看板を設置

道の駅「かみゆうべつ温泉チューリップの湯」の駐車場にフォトスポットを紹介する看板が設置されました。

これは、多くの方に「湧別の素晴らしい景色を知ってほしい、観てほしい」という思いから作製されたもので、湧別町出身のデザイナーやカメラマンの方々の協力により完成したものです。

魅力あふれる約50カ所もの候補地の中から厳選した、12カ所の湧別フォトスポットをぜひご覧ください。

ゆうべつ学園



木にふれるきっかけになればと、木に関するたくさんの絵本が贈呈されました

11/
2

絵本をありがとう

遠軽地区森林組合が絵本寄贈

遠軽地区森林組合（平井勝美 代表理事組合長）がゆうべつ学園に絵本を寄贈されました。

これは、子どもたちに木育活動を通じて、感性を養ってもらおうと毎年行われているもので、今年はゆうべつ学園に贈られました。

平井勝美組合長からたくさんの絵本が贈呈されると、受け取った代表児童2人は「ありがとうございます。」と、絵本をかかえながらうれしそうにお礼を言いました。

誠にありがとうございました。



11/11

安定した玉ねぎ収穫を支える

ふるさと講座「畑地灌水～リールマシン」

13回目のふるさと講座が町民有志で構成するふるさとから学ぶ会（代表 梅田唯士さん）と教育委員会の共催で開催されました。

今回の講座は、「畑地灌水～リールマシン」をテーマに、湧別川から取水しリールマシンで灌水する仕組みや、誕生までの経緯が説明されたほか、生産者目線からの話もあり、参加者は熱心にメモを取り、安定した玉ねぎ収穫を支えている畑地灌漑事業について深く知ることができたようでした。

文化センターTOM



約60人の方が参加しました

11/12

熱戦が繰り広げられる

子ども会交流ミニバレーボール大会

町青少年指導センター（平野寿雄 所長）主催の子ども会交流ミニバレーボール大会が開催されました。

小学生9チーム、中学生4チームが参加した今大会は、各チームが練習の成果を存分に発揮。手に汗握る熱戦が繰り広げられ、子どもたちの元気な声が会場に響き渡り大いに盛り上がっていました。

勝ったチームも、惜しくも敗れたチームも笑顔で心地よい汗を流し、子ども会行事を楽しんでいました。

中湧別総合体育館



小学生はブルーゆうべつチーム、中学生は南町子ども会Aチームが優勝しました

11/12

感謝の気持ちを胸に

上湧別中学校・ゆうべつ学園合同バンド定期演奏会

軽快なマーチで幕が明けた演奏会では、北見地区吹奏楽コンクールで金賞を受賞した確かな実力からなる迫力ある演奏だけでなく、サクソ3重奏や管楽4重奏など、楽器の個性が際立つ美しい演奏が披露されました。

アニメキャラクターに仮装して演奏するなど、多彩な演出で楽しませる工夫が満載のステージが繰り広げられ、たくさんの観客が押し寄せた会場は大いに盛り上がり、迫力と感動のステージに、演奏が終わったあとも惜しみない拍手が鳴り響いていました。

文化センターさざ波



生徒数の減少などにともない4年前から「オール湧別」として合同チームを編成して活動しています

11/13

安全運転を呼びかける

冬の交通安全運動が行われました

冬の交通安全運動期間に合わせ遠軽地区交通安全協会湧別支部の主催による街頭啓発（セーフティコール）が湧別町農業協同組合芭露支所前で実施されました。

セーフティコールには協会会員や交通安全指導員などが参加し、交通安全のタスキと旗を身につけ、ドライバー一人ひとりに「安全運転をお願いします。」と声をかけながら、湧別町の交通事故死ゼロ1000日目標にむけ啓発物品を配布し安全運転を呼びかけました。

湧別町農業協同組合芭露支所前



約20人が参加し安全運転を呼びかけました



なかよし児童センター



他の子が組み立てたコースをみて、また自分のコースを直すなど、子どもたちは夢中になっていました

11/14 失敗から学ぶ知育玩具 森のピタゴラス体験講座

合同会社 森のピタゴラス代表社員 崎川哲一さんを講師に迎え、森のピタゴラス体験講座が開かれました。

湧別児童センター・なかよし児童センターに設置されている木製玩具「森のデカゴラス」をもっと楽しんでもらおうと開催されたもので、崎川さんから「失敗を恐れず、諦めずに考え、繰り返しやってみることが上手に作るコツ」だと教わると、子どもたちは協力しながらいろいろなコースを組み立て満足がいくまで何度もビー玉を転がし楽しんでいました。

文化センターTOM



今年もきれいにまちを彩っています

11/15 今年も冬の夜を彩る 商工会女性部がイルミネーションを設置

このイルミネーションは、商工会女性部が平成21年度の町の合併から続けている恒例行事で、湧別の冬の風物詩となっています。

イルミネーションが文化センターTOM、役場上湧別庁舎前、湧別総合体育館前に設置され、冬の澄んだ空気の中で輝くイルミネーションは、とてもきれいにまちを彩り、観光振興や地域の活性化、防犯対策に役立っています。来年2月末まで点灯していますので、ご覧になってみてはいかがでしょうか。

上湧別コミュニティセンター



ピースフルスクールは、オランダで生まれた主体性・多様性・協働性を伸ばす取り組みです

11/15 幸せな未来のための教育を ピースフルスクール成果講演会

一般社団法人21世紀学び研究所代表理事の熊平美香さんを講師に迎え、ピースフルスクール成果講演会が開催されました。

熊平さんは、「民主的な社会とは、多様な人々が安心して幸せに共生することができる社会である」と話し、町内の保育所・認定こども園の幼児に行っている「ピースフルスクール」の成果を説明。保護者など約20人の参加者は、子どもたちが幸せに暮らせるようになる教育方法を改めて考えていました。

文化センターTOM



全5回全ての講座を修了した方は29人いました

11/15 好きなことして生きていくために 今年度の湧別町民大学が終了

㈱挑戦舎 代表取締役社長の永関博紀さんを講師に迎え、「好きなことして生きていくために～ギネス最速米国縦横断裏話」と題した、今年最後となる5回目の町民大学が開催されました。

永関さんは、お笑い芸人やYouTuber、自転車によるギネス最速記録にチャレンジしたことで「自分が本当にやりたかったことに気付けた」経験から、「やりたいことを見つけるために、考える前にまず一步を踏み出してほしい」と受講者にアドバイスをしていました。



ニュージーランド・セルウィン町を公式訪問

2020年に提携20年を迎え、友好の絆を再確認

2000年にニュージーランド・セルウィン町と友好都市提携を結び、中高生や町民など、これまでに多くの方々がお互いのまちを訪れ交流したり、町の芸術愛好家の作品を展示したりして、友情を育んできました。

新型コロナウイルス感染症の影響により対面での交流事業が途絶え、提携20年記念訪問が延期されていたことから、刈田町長、村田議長、内野国際交流推進委員長がセルウィン町を公式訪問し、友好の絆を再確認してきました。



公式訪問を記念した木製プレートを持つ刈田町長とサム町長

セルウィン町ってどんな町？

ニュージーランドの南島、南島最大の都市クライストチャーチ市の西側に隣接しています。南北を大きな川で挟まれ、南島を縦断するアルプスの山々で東側を区切られた地域で、町の面積は6,490km²、人口約8万1千人が住んでいます。

町は4つの地区に分かれていて、湧別町が交流しているセルウィンのマルバーンエリアコミュニティボードは、セルウィン町の西に位置します。



どうやって友好都市になったの？

1990年に「人づくり」事業として「湧別町人づくりセンター」が設置され、「ニュージーランド海外研修事業」がスタート。同センター事業として、長年、交流を重ねてきたセルウィン町と2000年7月に湧別町で友好都市提携を締結しました。

これまでに中高校生をはじめ多くの町民がお互いのまちを訪れ、産業、教育、芸術文化や生活習慣に対する理解を深め、町民同士の友情を育んでおり、調印から本年7月で23年を迎えています。



調印式

友好都市がつないだ絆

「両町の懸け橋になりたい」と、留学生の何人もの方が湧別町に移住しALTとして活躍してくれています。

その中の一人で、現在もALTとして活躍しているのがオリバー・ハッチンソンさんです。



子どもたちから大人気のオリバー・ハッチンソンさんは、2004年に交換留学事業で当時の湖陵中学校に通い湧別の魅力を体感。2013年から湧別町に赴任し、ALTとして活躍しています。



ニュージーランドでの活動内容

20周年記念植樹式に参加

サム町長、マルバーンコミュニティボードのブルース議長のほか、在クライストチャーチ領事事務所の羽田領事にも参加いただき、友好都市提携20周年を記念した植樹式が行われました。

ブルース議長からは、「愛と友情の印として、また、20年の歳月を記念した宝物として桜の植樹ができた。」と話があり、これからも続く友好を確認しました。

湧別企画展に参加

セルウィン町には湧別町から送った数々の記念の品があり、これまでの品が展示された湧別企画展が開催されていました。刈田町長は、「10周年の記念植樹の銘板を見て、改めて共に歩んできた月日の長さを感じた。両町の友好が末永く続くことを願っています。」と話し、湧別企画展を開催いただいたことへの感謝が伝えられました。

ダーフィールドハイスクール アンディ校長と懇談

刈田町長より、新型コロナウイルスの影響があっても、オンラインで学生同士の交流ができ、交流が途絶えることがなかったことに感謝が伝えられるとともに、来年度以降は、これまでどおりの交換留学などを実施していくことを確認しました。

友好都市提携20周年記念夕食会に参加

ホストファミリーを交えて夕食会を開催していただきました。サム町長から20周年記念訪問への感謝と、歓迎の言葉が述べられ、刈田町長からは互いの文化・習慣を理解・尊重し、友好の絆を培ってこられたことへの感謝と延期となっていた20周年記念事業が実施できたことへの謝意が伝えられました。

また、夕食会のなかで、11月3日に行われた湧別町功労者表彰で教育文化功労表彰を受賞した、姉妹町交流委員会アリソン委員長と長年ホストファミリーをつとめてこられたエイビスさんに功労の盾を贈呈し、これまでのご労苦に謝意をお伝えしました。

湧別町は今後も国際交流を推進します

短い期間での公式訪問ではありましたが、コロナ禍で停滞していた対面での交流が再開でき、友好の絆を再確認することができました。8月に訪問したカナダ・ホワイトコート町と同様に、今後もセルウィン町との友好関係を継続し、湧別町は国際交流を推進していきます。



左から：ブルース議長、村田議長、刈田町長、サム町長、羽田領事



2000年の調印式の際に訪問団に託した花嫁衣裳の着物も大切に保管されていました。また、友好の絆として2018年に送っていたダルマ人形にサム町長と刈田町長で目入れを行いました。



左から：アンディ校長、早川教諭、刈田町長



夕食会のなかで、20周年を記念したケーキカットが行われました

